

外国人児童生徒支援研修会

5月28日(火)、「外国人児童生徒支援研修会」を行いました。今回の研修会には、東部教育事務所の團主任指導主事を講師にお迎えしました。市内小中学校教員4名が参加しました。

講師より、①受け入れ時の心構え②日本語指導と個別の指導計画③将来を見据えた本人・保護者との関わりについてお話いただきました。

①受け入れ時の心構え



團先生

ほとんどの子供は、**望んで来日したわけではありません。**

「自分がその子だったら…と、**心細さ、孤独、不安**を想像してみましょう。多文化共生の心や思いやりの心をまずは教職員が、そして、子供がもてるようにしましょう。」

②日本語指導と個別の指導計画



團先生

日常会話の力（生活言語能力）と**学習で求められる力**（学習言語能力）は違います。

『日常会話と学習で使う言葉』は違うということを念頭に置かなくてはなりません。友達と会話できても、教科書が読めなかったり、書いてある学習用語が理解できていなかったりすることもよくあります。」

「滑川市には、『日本語指導資料一覧』があります（よい教材がたくさんあります）。一から教材を検討するのではなく、あるものをフルに活用されるとよいと思います。」

※ 昨年度、Teams「市内小中学校先生－先生」→『外国人児童生徒支援資料』に外国人児童生徒の受け入れ・支援に関する資料が投稿されています。ご参考になれば幸いです。

③将来を見据えた本人・保護者との関わり



團先生

本人・保護者が将来に対してどのような見通しをもっているかによって、指導や提供する情報の内容が違ってきます。**保護者と連携を密にとることのできる関係を築きましょう。**

「生涯日本で生活するのか、母国に帰国するのか、本人・保護者の思いを知ることが大切です。進路説明会は、中学2年生又は3年生を対象に行われることが多いですが、進路に対する見通しをもったり、学習に対する動機付けや意欲付けを図ったりするために、早い段階で行うことも考えられます。本人と保護者が十分話し合い、よりよい未来を築けるように、**進学に関する情報等**を提供しましょう。」

このように多岐にわたり、教えていただきました。



【指導講話】



【情報交換・質疑応答】

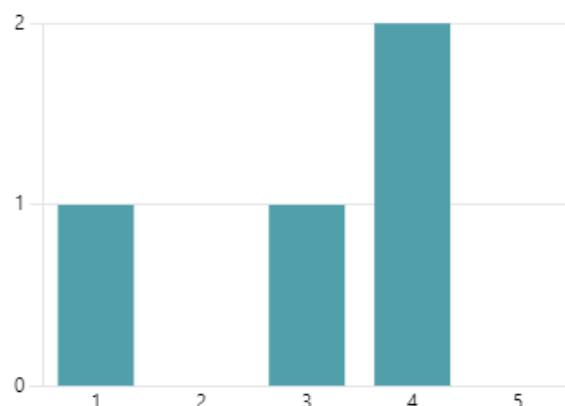
5 事後アンケートより (4名回答)

3. 本日の研修の満足度を星の数でお答えください。(0点数)

[詳細](#)

3.00

平均評価



受講者の感想

実際の児童生徒の実態を踏まえて、いろんな立場からの話ができありがたかったです。実際担任をしている小学校の担任の先生の苦労を共有できたら具体的な支援やサポートの必要性が見えると思います。小学校でケアを受けていない児童も多いなと感じます。先生方の知識不足と人材不足。外国につながる児童、保護者の実態をきちんとつかんで、生活言語ができて学習理解の困り感をきちんと学校も市としても把握することが第一歩だと思います。みんなを巻き込むためにもこの研修は必要です。ある日突然外国人児童の担任になります。

外国人児童生徒が増加傾向にあるが、どのような支援をするべきか分かっていなかった。様々な情報をもらい、勉強したいと思った。また、これから学校がどのようなサポート体制をするべきか考えることがわかった。

困っている状況を他の学校の先生や指導主事の先生と相談できていい機会となった。まだまだ、外国人児童生徒の支援が確立していないので、このような研修会の必要性を感じた。研修させていただきありがとうございました。

本日は研修会を開催していただき、ありがとうございました。外国人生徒をどのように受け入れたらよいか、どんなことを確認したらよいかを理解することができました。また外国人生徒の将来を考えて支援していかななくてはいけないと感じました。その中で保護者と連携を図り、良好な関係を結べるよう努めたいです。外国人生徒だけでなく、周りを取り巻く環境にも配慮しながら学級運営していきたいです。本日はありがとうございました。